

道徳教育方法研究

第2号

1996

I. 論文

1. 子どもの意欲を引き出す道徳授業

西本 吉生

2. 子どもの側に立ち、子どもに分かる道徳授業づくりの1モデル

西 享子

3. コールバーグにおけるジレンマ資料による道徳授業

山根 耕平

4. 「道徳」で子どもから教わった人類共存時代の生き方への感動

前田 和利

5. 道徳授業評価の客観的基準

—チェックカードによる評価の方法—

植田 治昌

6. 体験を取り入れた総合単元的な道徳学習の研究

—4年生総合単元「ふるさと神山発見」の実践を通して—

寺奥 幹生 / 七條 正典

II. シンポジウム 道徳授業成功の決め手は何か？

1. 問題提起

2. 報告者論文及び発表内容

(1) 授業成功の決め手

大宮 俊恵

(2) 道徳授業とその成立条件

越智 貢

(3) より深まりのある道徳学習のための効果的な工夫について

(4) 道徳授業成功の決め手はなにか？

坂口 弘昭

柴原 弘志

3. フロアからの発言要旨

(1) 教師によるモラルへの問いの重要性

秋山 博正

(2) モラルの知の重層性について

服部 敬一

(3) 観念連想法による道徳授業評価の試み

上藪 恒太郎

(4) 道徳の時間の指導方法について

笹田 博之

Ⅲ. 会務報告

Ⅳ. 会則

Ⅴ. 活動・運営方針

Ⅵ. 投稿規定・研究発表申し込み規定

Ⅶ. 欧文サマリー

編集後記